

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.105

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-8543

北海道札幌市中央区南1条西16丁目

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院 臨床工学部

TEL 011-611-2111

平成24年度公益社団法人北海道臨床工学技士会総会終了

平成 24 年 5 月 27 日(日)、KKR 札幌医療センター 3 階会議室におきまして、平成 24 年度公益社団法人北海道臨床工学技士会総会が開催されました。

審議事項、報告事項の各議案に関して、委任状による出席者を含め過半数を超えた会員より承認を頂き成立しました。

ご多忙な時期にも関わらず、積極的に御協力頂いた会員皆様に篤く御礼申し上げます。



総会の様子

審議事項

第1号議案 平成23年度事業および収支決算報告

第2号議案 平成23年度監査報告

報告事項

- 平成24年度事業計画報告
- 平成 24 年度収支予算報告
- 第二期役員選出結果報告

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.105

公益社団法人北海道臨床工学技士会総会終了	1
平成 24 年度診療報酬改定内容に関する疑義解釈通知について	2
臨床工学の日が設定されました	2
7月からの予定	2
医療事故情報収集等事業医療安全情報	3
頑張れ！フレッシューズ	4
RMニュース	5
理事会からのおしらせ	5

平成24年度診療報酬改定内容に関する 疑義解釈通知について

平成24年度診療報酬改定内容について厚生労働省から疑義解釈通知が発出されました。透析に関連する内容は以下のとおりですので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

疑義解釈資料の送付について(その1)より

(問167)

人工腎臓について、エポエチンベータペゴルはエリスロポエチン製剤に含まれるのか。

(答)

そのとおり。

(問168)

人工腎臓の慢性維持透析濾過(複雑なもの)を行っている患者がいない場合も、体制が整っている場合には、透析液水質確保加算2を算定してよいか。

(答)

算定して差し支えない。

(問169)

持続緩徐式血液透析濾過はどの区分で算定するのか。

(答)

J038-2持続緩徐式血液濾過で算定する。

(問177)

K616-4経皮的シャント拡張術・血栓除去術について、3ヶ月に2回以上実施した場合、2回目以降の手術に伴う薬剤料又は特定保険医療材料料は算定できるか。

(答)

算定できない。

(問178)

K616-4経皮的シャント拡張術・血栓除去術について、3ヶ月に2回以上、複数の保険医療機関で実施した場合、それぞれの保険医療機関について3ヶ月に1回に限り算定できるか。

(答)

1人の患者につき、3ヶ月に1回に限り算定する。

疑義解釈資料の送付について(その2)より

(問50)

K616-4経皮的シャント拡張術・血栓除去術について、3ヶ月に1回に限り算定できるが、3ヶ月に1回しか当該手術を実施できないのか。

(答)

そうではない。当該手術料は、3ヶ月の一連の行為を評価したものであり、3ヶ月に2回以上実施して差し支えない。医学的な必要性に応じて実施すること。

<疑義解釈資料(厚生労働省ホームページより)>

臨床工学の日が設定されました

6月2日を CE の日(臨床工学の日)とすることが日本臨床工学技士会の理事会で決定され総会で報告されたことにより設定が決定いたしました。6月2日は、昭和62年臨床工学技士法が国会で成立し法律第60号として公布された日にあたります。

7月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2012年 7月 7日 (土)

「北海道心カテセミナー vol.1」

会場 TKP札幌ビジネスセンターアネックス 6C

札幌市中央区北3条西3丁目

札幌小暮ビル 6階

<http://hcea.umin.ac.jp/> (当会HP参照)

2012年 8月 12日 (日)

「第3回北海道呼吸療法セミナー」

会場 北大学術交流会館

札幌市中央区北8条西5丁目

<http://hcea.umin.ac.jp/>

2012年 9月 9日 (日)

「第7回医療安全セミナー」

会場 札幌医科大学

札幌市中央区南1条西17丁目

<http://hcea.umin.ac.jp/>

医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.65 2012年4月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療安全情報

No.65 2012年4月

救急カートに配置された薬剤の取り違い

救急カートに配置された薬剤を取り出す際に、別の薬剤と取り違えた事例が3件報告されています(集計期間:2008年1月1日~2012年2月29日、第22回報告書「個別のテーマの検討状況」(P101)に一部を掲載)。

救急カートに配置された薬剤に、それぞれ薬剤名のラベルを表示していたにもかかわらず、別の薬剤を取り出した事例が報告されています。

投与すべき薬剤	取り違えた薬剤	取り違えた状況
ポスミン	硫酸アトロピン	表示をはさんで配置が隣り合っていた
硫酸アトロピン	ワソラン	
セルシン	ジゴシン	薬剤の表示を見てジゴシンをセルシンと思い込んだ

この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.jqhc.or.jp/

医療事故情報収集等事業

医療安全情報 No.65 2012年4月

救急カートに配置された薬剤の取り違い

事例1

気管支鏡検査の際、看護師は止血目的でポスミン生食を準備するため、救急カートからポスミンを取り出した。その際、救急カートの薬剤の仕切りのポスミンというシールを見たが、急いでいたためアンプルの薬剤名の確認はしなかった。
検査後、救急カートの確認を行ったところ、ポスミンと硫酸アトロピンの本数が合わないことに気付く。ポスミンと表示をはさんで配置が隣り合っていた硫酸アトロピンを使用したことが分かった。

事例2

患者が痙攣を起こしたため、医師は、看護師に「セルシン」と口頭で指示した。看護師は救急カートの表示を見て、ジゴシンをセルシンと思い込み、準備した。医師は用意された薬剤を確認せず注射した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 救急カート内の薬剤名が識別しやすいように医療機関で工夫し、その方法を院内で標準化する。
- 救急カートから薬剤を取り出す際や注射器に準備する際に、薬剤名を確認する。

この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.jqhc.or.jp/

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.66 2012年5月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療安全情報

No.66 2012年5月

インスリン含量の誤認(第2報)

インスリン含量の誤認を医療安全情報No.1(2006年12月)で情報提供いたしました。その後、再び類似の事例が8件報告されていますので、再度、情報提供いたします。(集計期間:2006年10月30日~2012年3月31日)。

インスリンの単位を誤認し、過量投与に伴い低血糖をきたした事例が再び報告されています。インスリンは100単位/mLに濃度が統一されており、「1バイアル1000単位(10mL)」です。

「インスリン製剤販売名命名の取扱いについて」の通知に伴い、販売名が変更されています。(イメージ)

医療安全情報No.1の(バイアル製剤) 販売名が変更された(バイアル製剤)

バイアル製剤は販売名に100単位/mLと表示することになりました。

◆報告されている8件の事例のうち3件は、経験年数1年未満の医師や看護師によるものです。

この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.jqhc.or.jp/

医療事故情報収集等事業

医療安全情報 No.66 2012年5月

インスリン含量の誤認(第2報)

事例

看護師A(1年目)は、持続インスリン投与をしていた患者のノボリンRの調製を初めて行った。指示簿には、「ノボリンR注100単位/mL(10mL)40単位+生食40mL」と書かれていた。看護師は、指示簿を見て、ノボリンR注は10mLが100単位だと誤認し、40単位の指示に対して4mL(400単位)を生食と調製し、総量40mLにした。4時間後、患者は声をかけても覚醒せず、低血糖(BS17mg/dL)になっていた。

インスリン製剤販売名命名の取扱いについて、厚生労働省より通知が出されています。

○薬食審査発第0331001号 薬食安発第0331001号 平成20年3月31日付
http://www.info.pmda.go.jp/ryoujiko/file/20080331.pdf#search=

事例が発生した医療機関の取り組み

インスリンの濃度は100単位/mLで、1バイアル1000単位(10mL)であることを周知徹底する。

この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/
※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
※この情報は、医療従事者の責を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.jqhc.or.jp/

頑張れ！フレッシュャーズ

このコーナーは、平成23年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、本年3月に北海道工業大学を卒業し、現在旭川赤十字病院にて勤務中の前田 愛梨さんです。



旭川赤十字病院
前田 愛梨
(北海道工業大学 卒業)

私は、北海道工業大学を卒業し、4月より旭川赤十字病院臨床工学課に勤めています。臨床実習は旭川赤十字病院で実施させていただき、幅広い分野で業務をおこなっていることを知り、この病院で働きたいと強く思い就職を希望しました。新社会人となり、慣れない環境に戸惑いながらもやりがいのある毎日を送っています。

現在はプリセプターの指導のもと透析室業務を中心に機器管理、心カテ、ICUやオペ室での業務など幅広い分野を経験させていただいています。様々な分野で活躍する先輩の姿を見て、多岐にわたる臨床工学技士の業務を実感するとともに、自身の知識の足りなさを常に痛感させられます。

主に携わっている透析室の業務では、プライミングや定時のチェック、血液回路の接続を行っています。ようやく一日の流れを把握し、時間配分を考え行動できるようになってきました。血液回路の接続やテープ固定など患者さまと接する場面では、まだまだぎこちない私にやさしく声をかけてくれる患者さまに大変救われています。これから始まる穿刺や、返血作業にむけ患者さまとのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いていきます。

毎日、覚えることが多く、気持ばかりが焦りますが、新しく得た知識を自分なりに整理し丁寧で確実な仕事ができるように心がけています。一歩一歩ではありますが患者さまや他の医療スタッフに認められる臨床工学技士を目指して前進していきます。



◆RM ニュース◆

<酸素送れず、女性意識不明>

白血病で入院中の女性患者(45)の肺に酸素を送るための蘇生器具の使用を誤り、心肺が一時停止し、低酸素脳症になるミスがあったと発表した。

女性は10日の夜に自発呼吸が出来ない状態になり、午後9時45分頃から約30分間、手で肺に酸素を送り込む「蘇生用バッグ」を使用。だが、酸素を送り込む弁を誤って取り付けていたため、十分な換気が出来ず、約15分間心肺が停止した。

「蘇生用バッグ」は3月に別の患者に使用した後、3人の看護師が分解して洗浄。再度組み立てる際に誤り、酸素が送れるかどうかの確認をしていなかった。

4月20日 掲載:共同通信社

<消毒ミスの内視鏡で検査 兵庫県の病院>

兵庫県の病院は20日、消毒が不十分だった内視鏡を658人の検査に使用していたと発表した。病院は全員を対象にB型肝炎やエイズなどの血液検査をする。

病院によると、胃や大腸の検査に使う内視鏡は通常、消毒液5分間漬けるが、洗浄機の設定時間が0分になっていたため、十分な消毒が出来ていない可能性があるという。業者の2010年7月の点検以降、設定の確認をしていなかった。

4月23日 掲載:共同通信社

<患者10人に未消毒の内視鏡使用 神奈川県病院>

神奈川県病院は26日、耳鼻咽喉科の患者10人に消毒していない内視鏡を使用したと発表した。既に患者に謝罪し、肝炎など感染症の検査を始めた。

病院によると、25日の診察終了後に洗浄機の消毒時間が本来の「5分」ではなく「0分」に設定されていることに看護師が気付いた。前回の診察終了後、機器をメンテナンスした際に戻し忘れたとみられる。

4月27日 掲載:共同通信社

理事会からのお知らせ

平成24年度4月～5月までの理事会において以下の報告・協議がされました。

- ・第2期役員(理事)担当割について
- ・賠償責任保険制度の入会受付について
- ・本年度委員会メンバーの委嘱について
- ・入会手続きのオンライン化について



NIPRO

マキシフラックス®

MFX-eco タイプ

血液透析濾過器 高度管理医療機器
医療機器承認番号: 22200BZX0091000

BPA FREE



- 透水性能に優れるポリエーテルスルホン中空糸膜素材に採用。
- 性能の異なるMFX-eco・MFX-S ecoの2種類をラインアップ。
- 最大2.5㎡までの各4種類の膜面積。
- ポリプロピレン製のケースを採用し環境ホルモンBPA*を排除。
*BPAはビスフェノールAの略称です。

maxiflux®

NIPRO 製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



JIMRO

炎症性腸疾患治療の選択肢を広げる

Adacolumn®

血球細胞除去用浄化器

アダカラム® (保険適用)

- アダカラムは、活動期潰瘍性大腸炎および活動期クローン病の寛解を促進、症状を改善する治療用医療機器です。
- アダカラムは、末梢血中の顆粒球および単球を選択的に吸着する、体外循環用カラムです。
- 治療時間が60分と短く、患者さんの負担が少なくて済みます。



効能・効果、禁忌、使用上の注意等については、添付文書または製品情報概要をご参照下さい。

医療機器承認番号: 21100BZZ00687000

資料請求先

株式会社 JIMRO 東京事務所 学術部

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル

TEL: 0120-677-170 (フリーダイヤル) FAX: 03-3469-9352 URL: http://www.jimro.co.jp



**日本語ソフトとの連携で
簡単・効率的にテストを行えるME機器チェック**

輸液ポンプチェック、除細動器チェック、パルスオキシメータチェック、SpO₂センサスタ、ECGシミュレータ、ベシエントシミュレータ、非観血式血圧計チェック、電気安全アナライザ

さらに
機器管理システムが連動!

機器台帳 購入台帳
試用台帳 配置表
貸出・返却
管理レポート
定期保守 点検保守
部品管理 ICタグ連動

院内ME機器・医療備品を台帳・カルテ管理するME機器総合情報管理システムとの連携により、保守・点検時に測定した各種データやレポートを自動的に電子データにて管理することが可能です。

Me-ARC

Something to Life **METS** 株式会社 **メッツ**
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7
E-mail: sales@mets-tokyo.jp TEL: (03)3888-8445

簡単オートテスト レポート自動作成
データ管理もできる!

持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、処方せん医薬品:注意-医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元 **協和発酵キリン株式会社** [資料請求先]
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185
www.kksmile.com

**ネスプ®
注射液 プラシリンジ**

10・15・20・30・40μg/1mL 60・120μg/0.6mL 180μg/0.9mL

薬価基準収載 一般名:ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)

本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌」を含む「使用上の注意」等については最新の添付文書をご参照ください。

2011年3月作成
®登録商標

医療と福祉の融合を目指す
アクティブグループ

AG

URL <http://www.actg.co.jp>

**専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して
医療現場をフルサポート致します。**

医療機器・医療材料の総合商社
株式会社アクティブメディカル
東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル
支店:横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路

THE SERVO BRAND *iS*

サーボベンチレータは、信頼のある性能と使いやすさを備えたベンチレーションシステムです。病院内の多種多様な条件に合わせて使用することができます。

MAQUET

新生児・小児・成人用人工呼吸器
サーボベンチレータ
Servo*i*
医療機器承認番号:
21200BZY00120000

本社 / 〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2-2-1 TEL (011)721-3251(代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間:月～金曜日(祝祭日、休日を除く)9:00～18:00
●医療機器専門メーカー **フクダ電子北海道販売株式会社**

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光5条3-1-1 ☎(0166)32-6970代 ●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-15 ☎(0138)55-6097代
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 ☎(0154)39-1088代

NIKKISO

HYBRID
D-FAS を内蔵し、シンプルな操作性を実現。

透析液 生理食塩液

多用途透析用監視装置
DCS[®]-100NX

高度管理医療機器/特定保守管理医療機器 医療機器承認番号:22300BZX00300000

日機装株式会社 本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL:03-3443-3751 FAX:03-3473-4965

NIKKISO Total System NX

経口そう痒症改善剤 劇薬、処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載



レミッチ[®] カプセル2.5μg

REMITCH[®] 一般名：ナルフラフィン塩酸塩

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること
 本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 **TORAY** 東レ株式会社 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

販売元 (資料請求先) **鳥居薬品株式会社** 東京都中央区日本橋本町3-4-1 <http://www.remitch.jp>

提携 **日本たばこ産業株式会社** 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2010年6月作成

止血弁付安全留置針

ハッピーキャス V

- 世界初の新機能「止血弁」
- 針刺し防止機構



メディキット株式会社

発売元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201 <http://www.medikit.co.jp/>
 製造販売元：東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000 <http://www.togomedikit.co.jp/>

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

ABH Series

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器

ABH-P

中空糸内径と細孔径を最適化
高度管理医療機器
承認番号 22200BZX00577000

血液透析濾過器
旭中空糸型ヘモダイアフィルタ

ABH-F

中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減
高度管理医療機器
承認番号 22200BZX00696000

旭化成メディカル株式会社
<http://www.asahikasei-medical.co.jp>
No.2012.5-7470



操作の自動化と
感染防止をめざし
ゆとりのある透析治療を…

JMS
<http://www.jms.cc>

JMS透析用コンソール GC-110N

株式会社 ジェイ・エム・エス
 広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
 東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
 貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社 (北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番地・☎(011)746-5111

TORAY
Innovation by Chemistry

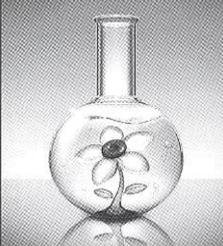


TDF M^H
トレスルホンTDF

人工腎臓用特定保険医療材料：ヘモダイアフィルター
高度管理医療機器
医療機器承認番号：22400BZX00102000
販売名：トレスルホンTDF
●ご使用に際しては添付文書をご参照下さい

販売業者
東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>
千葉県浦安市美浜一丁目8番1号 東レビル 〒279-8555

製造販売業者
東レ株式会社
東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 〒103-8666



遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 薬価基準記載
生物由来製品 / 劇薬 / 処方せん医薬品[※]

エポエチンアルファBS^注 750 シリンジ「JCR」
1500 「JCR」
3000 「JCR」

Epoetin Alfa BS Injection エポエチン カップ(遺伝子組換え)[エポエチンアルファ後続1]製剤
注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること。

効能・効果、用法、用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

販売元  **キッセイ薬品工業株式会社** 製造販売元  **日本ケミカルリサーチ株式会社**

松本市芳野 19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
＜資料請求先＞製品情報部 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号 TEL 03-3279-2304

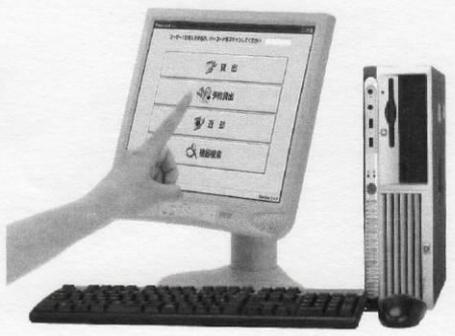
兵庫県芦屋市春日町3-19
＜資料請求先＞学術企画部 兵庫県芦屋市春日町3-19 TEL 0797-32-3635
2010年11月作成

EB033CX

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

人工腎臓用透析用剤 Ca⁺⁺ 2.75 HCO₃⁻ 27.5 C₆H₁₂O₆ 125

キングラー[®]透析剤

4D・4E・AF4P号 新発売

透析治療に新たな選択肢を。

 扶桑薬品工業(株)

Ca⁺⁺ 2.75 mEq/L HCO₃⁻ 27.5 mEq/L C₆H₁₂O₆ 125 mg/dl

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
	旭川赤十字病院	臨床工学課	脇田邦彦
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川リハビリテーション病院	透 析 部	木村吉治
	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	野尻 誠

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233

旭川市豊岡3条6丁目
2番20号

0166-34-0111